

COMIKET 74

会場限定本



**Campus
Mission**

Adult Only



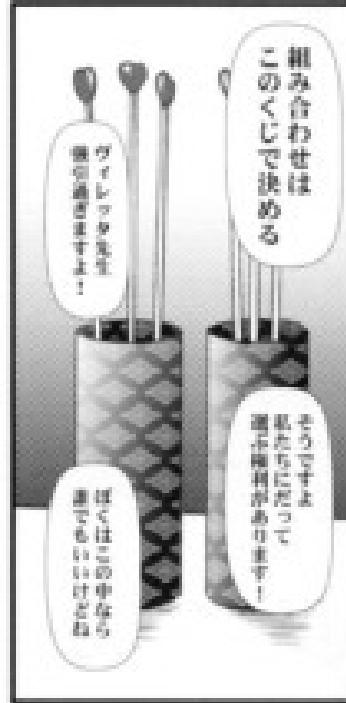
赤とナリカ

-Beat Blades Narika-

謹がら、ちょっとだけ大人ナリカです。
20才になつになつたナリカもハルカさんには
及はずとも、それなりにちちも成長しましょw
ないちちが野きな人にはごめんなさい。
ズボンのデザインもハルカさんを見習つて、
タイトスカートになりましょ。ナリカは
どうもタカマルの複雑があしりといつて
いるようで、気になって仕方がない
ようです。

それもそれはず、何もしなくても筋屈的に
1/3ほど見えてしまう仕様なのですぐらw





まずは「愛撫」からだ
男性読者、SEXは必ず
女性を高揚させて臨むわ
なくてはならない



ヴィレッタ先生の
スカートの下に
こんなおまんこが
隠れていたなんて...

ヴィレッタ先生
大図!

基本的な流れは
「キス→胸→性器」の順で
愛撫していくといい

風...

届先生は手馴れているから
いい手本になると思う

そ、 そうだな
すまない…

はあは…
「…このように女性を
感じさせる…多量の愛液を
排出させ…る

それ…から…
他の愛撫方法に…
はあ…

おい千草
そういう言い方は遊び
慣れていると誤解される
だろう

乳房は優しく
包むように—

ちくびは優しくと者には
優しく扱わるように
…ああん

んあつロ

女性器は全体を撫で回し
クリトリスと膣口を中心で
愛撫…する

…あれも
…頼めるか?

手本にして…

「うして舌で愛撫すると
女性は…あります





ねえ ルルーシュ
見てるだけじや
つまらないでしょ？

ここに指を入れても
平気なのか？

ふふ…ルルーシュが
パンパンにしている
おちんちんだった入るわよ

んんっ!!

知らないわよ
そんなところ
タンポンしか
ことないもの

経験豊富な私が教えるから
私のおまんこ触つてみなさいよ

今「タンポンしか」と
言ったか？

ち、ちちんほと聞き
間違えたんじやないの？

や、やめなさいリヴァルー¹
そんなに乱暴に……痛つ

しかしある人のおまんこを
弄るなんて最高ですよ
匂いもたまんねえです

会長このへんですか？

そりゃもうおう
も」もの感じ

大丈夫ですよ
そのうち気持ちよく
なるみたいですよ

ヴィレッタ先生！
会長が全然連れないので
はどうしてですか？

んつ?
ちょっと待て

ルルーシュ
少しだけミレイの
相手をしてみてくれ

ああ、ん
ルルーシュの指
たまんない
クリもクリも撫でてえ！

まあそんなに
気を落とすな

はいはい会長
そんなに腰を押し付けない
ヴィレッタ先生
会長はぐっしょりですよ？

な、なんだい！



私のもモモモモシレしてよ
ルルにモモモモシレして欲しくて
たまらないよお





COMIC 2

Etooya

ハルカさんはしたたかに黒いと思うのです。中の人のように諭吉に執事はないけれど、タカフルへの執事にはスバルだって墨し抜きます。
トウルーEDはその結果だと暗に想起します。
でもそんなところ好きw



其の式

Sunshine
Creation 40

其の壱

鬼斬 Heaven を發行するまではよこっと作っていた本です。
ページ数の關係で、表紙が D6
以下にしないと入りませんで
した…。

スバルは通常 Lv.02 の H シーン
がお気に入りです。
確実に遠くで悩んでいるのが、
これまたたまらんです。

Comiket 73

あま
け

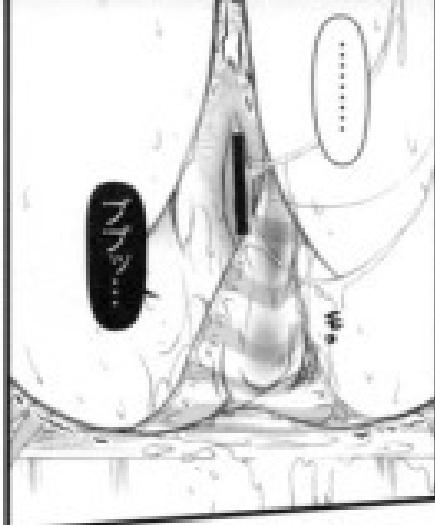
Because of Tears







アーリー
死んでしまった





■ 编集後記 ■

ページ数の関係で奥付ページにあらがきを書くことに()：
田原は田の倍数なので、この上のページ数にすらあらがきは足らなくなってしまうので、
一番八らなかつたものもありました。ごめんなさい。
ヴィレッタ先生の漫画はいけがだったでしょうか? キャラ数とページ数から前編で終わ
りましたが、空気感を楽しんでいただければと思います。
ジャーリーは、便んでしまってから自分の中で軽が難上昇しました! それまではどちらか
といふと難易しがつたのですが(): 黒の騎士団に入っていたら、オペレーターでもしてい
たのがね? それが見られなかつたのは強姦です。
それから、ミレイ色長も絶対難がずには結構面白いキャラです、学園に一人取り残されて
しまった司魔使がリヴァルくんとは、エロ漫画としていいロコンビが組めそうですw
放題はまだ1回におちがわかれませんが(各コマまでには~)、多回出せなかつたヴィレッタ
かを出そろ亡思ひますので、またよろしくお願ひします<__>



Campus Mission

COMIKET 74 会場限定本

presented by otogiya